

第 16 回日本感性工学会春季大会 優秀発表賞

2021 年 3 月 7 日(日)～8 日(月)に、オンラインで開催された第 16 回日本感性工学会春季大会の優秀発表賞は、予稿原稿による事前審査、および、口頭発表による当日審査の結果に従って、3 月 10 日の会議で慎重に協議した結果、下記の 8 件に決定致しました。今後の研究の発展と、皆様の益々のご活躍を祈っております。

※優秀発表賞は、予稿の書き方や研究の目的設定や、発表の方法や質疑等が優れており、また研究の今後の進展に期待できる若手研究者を顕彰するものである。したがって、本賞は発表内容の正しさを必ずしも保証しているものではありません。

山口穂高（岐阜県生活技術研究所）

投影画像を用いた幅はぎ集成材の柄設計 - エLEMENT間コントラストと空間周波数の検討 -

田沼和泰（株式会社東海理化）

振動による触覚フィードバック付きタッチパッドにおける振動パラメータと感性的印象の関係

安河玲雄（東京電機大学）

3D アクションゲームにおける「ヒットストップ」の視覚効果に関する研究

佐野貴紀（千葉大学）

The Impact of Facial Attractiveness on Time Perception

田村かおり（福岡工業大学・九州大学）

ベイズ推定を用いたにおい物質印象評価の定量解析手法

新崎未奈（ダイハツ工業株式会社）

ステアリングスイッチの押下フィーリングに関する嗜好性と知覚空間の分析

宮下達哉（日本大学）

美大生はお金と美しさの価値観のどちらを重視するか - 名画と駄作を用いた検討 -

本多瑞季（東京電機大学）

日本における色付きマスクのポジショニング分析

以上

第 16 回日本感性工学会春季大会優秀発表賞選考委員会

委員長: 乾 滋(信州大学)

委員: 吉田宏昭(信州大学)

田中稔久(信州大学)